

# みんなの南アルプス

発行 南アルプスを未来につなぐ会 電話 054-221-2963 (事務局)



中ノ宿吊り橋から眺める紅葉（一般財団法人南アルプスみらい財団提供）

## 第9号発行

静岡市の市街地では11月中旬以降急に寒くなり、冬の訪れを感じています。過ごしやすい秋の期間が年々短くなり、夏からあっという間に冬になりました。夏に南アルプスで撮影した写真を見ていると、少し前なのにとっても懐かしく感じます。

さて、第9号では、南アルプス写真・動画コンクール審査会の開催や防鹿柵整備の取組等について御紹介します。

# 南アルプス写真・動画コンクールの審査会を実施

～多くの応募をいただきありがとうございました～

第8号でお知らせした「静岡県南アルプス写真・動画コンクール」は、10月31日に募集を締め切り、134名から計417作品※の応募をいただきました。

南アルプスには、雄大な山々や奥深く広大な森林、お花畑等の美しい自然景観があり、また、麓の井川地区や川根本町には独自の伝統文化が根付いています。今回のコンクールでは、これら南アルプスならではの自然の美しさや地域への愛着を強く感じさせる力作が多数応募されました。

11月27日に応募作品の審査会を開催し、西田省三 審査委員長をはじめ5名の多様な見識をお持ちの皆様により、厳正な審査が行われました。

さらに、協賛企業・団体による豪華商品が付いた特別賞の選定も進められています。

入賞作品は静岡県のホームページで公開するほか、作品集の形でとりまとめ、静岡県域の南アルプスのPRに最大限活用させていただく予定です。

※応募数の内訳 写真部門：165、動画部門：20、Instagram部門：232

## 審査委員一覧

審査委員長	西田 省三	山岳写真家・映像作家
審査委員	榎田 善行	川根本町資料館やまびこ職員 (元赤石岳避難小屋管理人)
審査委員	柏 澄子	山岳ライター 登山ガイドステージII
審査委員	金原 みつみ	静岡市井川地区 地域おこし協力隊
審査委員	鈴木 智子	一般社団法人 静岡県大学出版会 (静岡時代事務局) 代表理事



審査会の様子



審査委員の皆様

# ボランティアの協力を得てお花畑を保全

## ～今年の防鹿柵の作業が終了しました～

南アルプスの魅力の1つである高山植物の貴重なお花畑は、シカの食害による影響で衰退が進んでいます。

静岡県では、お花畑をシカから守るため、防鹿柵の整備を実施しています。防鹿柵の設置や維持管理は、一般財団法人南アルプスみらい財団へ委託しており、当日の作業は、現地に精通した財団のレンジャーのほか、ボランティアの方々にも多くの現場で協力いただき実施しています。

防鹿柵は、雪解けとともに樹脂製のネットを立ち上げる「季節型樹脂製柵」と、通年で設置できる「常設型鋼製柵」を場所に応じて設置しています。

また、防鹿柵の設置期間中は、お花畑の復元状況の調査を行っています。防鹿柵の外側では見られなくなってしまうお花畑が、防鹿柵の内側では回復してきている調査結果が得られており、防鹿柵の成果が表れています。

短い夏が終わり、降雪前の時期になると「季節型樹脂製柵」のネットを下ろします。12月20日の作業をもって、今年の防鹿柵の整備が終わりました。あいにくの不安定な天気の中での作業もありましたが、多くのボランティアの方々にも協力いただき、全ての作業を無事に終えることができました。

適切な維持管理には毎年丁寧な作業を行うことが必要です。今後も、多くの皆様の御協力をよろしく願いいたします。



防鹿柵で守られているお花畑（聖平）



季節型樹脂製柵を立ち上げる作業  
（レンジャーによる整備の様子）



季節型樹脂製柵を下ろす作業  
（ボランティアによる整備の様子）

## 2024夏山シーズン レンジャー3大ニュース

皆さん、こんにちは！南アルプスみらい財団です。現地(南アルプス)は、10月に赤石小屋、荒川小屋、千枚小屋が小屋閉めとなり、夏山シーズンが終了しました。

夏の南アルプスをフィールドとして、稜線に、麓地域に、各所で奔走する財団職員＝レンジャーが特に印象に残った2024年の出来事を「レンジャーの3大ニュース」として紹介します。

.....

### 【1】新レンジャー活躍中

4月から、新たにレンジャー1名が財団のメンバーに加わりました。

梶田レンジャーは、新潟県にあるガイド養成学校を卒業したての23歳。登山ガイドの有資格者であり、高山の現場巡視活動やイベントで、その技術・経験をいかんなく発揮してくれています。皆様、今後とも宜しくお願い致します。



日の出を取材する梶田レンジャー

.....

### 【2】光の森学園で地域の子どもたちに授業

今年度、小中学校の合併により新設された「川根本町立光の森学園(千頭)」にて、光の森学園と井川小中学校の1～3年生を対象に出前授業を行いました。

生物多様性をテーマに、南アルプスの有する価値や豊かさについて、子どもたちと一緒に考えました。中には、「光岳(川根本町最高峰)に登ってみたい!」との声もありました。



折り紙を使って山と谷を学習

.....

### 【3】祝ユネスコエコパーク10周年！

2024年は、南アルプスがユネスコエコパーク登録10周年の節目の年で、当財団も南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会の一員として、記念イベントの企画や実行に関わりました。

大井川源流の碑設置事業では、地域や企業、ボランティアの皆様との協働により、大井川最初の一滴の地＝間ノ岳直下に碑を建立し、南アルプスの恵みと、大井川を軸とする流域のつながりについて再確認しました。



源流に到達した歩荷ボランティア

## シリーズ企画：南アルプス探訪

第2号から始めましたシリーズ『南アルプス探訪』。前回は南アルプスの地形と崩壊について御紹介しました。

第8回目となる今回は『南アルプスで見られる様々な地形』についてです。

### テーマ：大井川上流域における地質と地形の成り立ち (第8回：南アルプスで見られる様々な地形1)

#### 南アルプス V字谷の形成

山地斜面が急勾配で、湿潤多雨により大量の流水をもつ谷は、土砂を下流に運搬するとともに、山地を浸食していきます。

それによって、稜線や山腹よりも、谷底に近づくほど、上方に開いた急峻なV字谷を形成しています。



中盛丸山から赤石沢のV字谷を望む  
(南アルプス学術総論、2010)

#### 荒川岳 氷河地形カール

南アルプスの高山域には、2万年前頃に造られた小規模な氷河地形や周氷河地形が残っています。

南アルプスの氷河地形は、日本最南端の位置にあります。

荒川岳一帯には、氷河によって削られた地形であるカールが見られます。カールの中腹や底では、いずれも大規模な高山植物のお花畑になっています。



氷河地形カール（中岳）

次回は引き続き『南アルプスで見られる様々な地形』についてお伝えする予定です。

## ～ふるさと納税による寄附を是非ご検討ください～

静岡県では、本会報で紹介しているように、南アルプスの環境保全と魅力発信の取組を進めています。活動の予算は主に「南アルプス環境保全基金」を原資としています。

「南アルプス環境保全基金」は、主に皆様からの寄附によって成り立っています。ふるさと納税による寄附も可能となっていますので、静岡県の「南アルプス環境保全基金」への寄附を是非御検討ください。



南アルプスの環境保全と魅力発信の取組を継続するため、皆様のご協力をお願いします。



ふるさと納税  
(個人) はこちら



企業版ふるさと納税  
(県外企業) はこちら

※その他の寄附については、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課までお問い合わせください。

## 編集後記

静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課 野末尚希

令和6年11月23日、南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会主催の清掃活動に参加しました。

静岡駅前で送迎バスに乗車し、約3時間後に井川地区の温泉施設「白樺荘」に到着しました。そこから2時間弱、2グループに分かれて道路を歩きながらゴミを拾いました。ゴミがあまり落ちていない区間もある一方で、駐車スペースがある箇所等、ポイントによっては比較的ゴミがたくさん落ちていました。

ゴミが落ちていること自体は残念なことです。一つ一つゴミを拾うごとにきれいになっていくことが実感できるので、とてもやりがいのある活動でした。同じように感じていた参加者も多いようで、時間が経つにつれて皆さん元気で笑顔になっていきました。この活動には、はじめてこの付近に足を運んだ人も複数参加されていて、そういった人ほど楽しまれているようでした。

私にとっても、普段仕事では通り過ぎてしまう場所をゆっくり歩けたことは貴重な機会でした。南アルプスでの過ごし方を考えるときに、登山や麓の観光施設を思い浮かべてしまいがちでしたが、何気ない場所でも楽しめることが分かったのは新たな発見でした。

清掃後には、昼食をとり、温泉に入って休憩した後、再びバスで帰りました。静岡駅着は17時頃、あっという間の1日でした。限られた時間でしたが、多くの参加者と交流できました。こうした活動の積み重ねにより、南アルプスへ親しみを感じる方が1人でも増えていただければ幸いです。

### <活動の様子>



ゴミを一生懸命に探しています



所々で紅葉が見頃でした

YouTubeで南アルプスの魅力を発信中！

○YouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」

